

電源電圧	交流100V	水道水圧	0.03～1MPa(0.3～10kgf/cm ²)
周波数	50/60Hz共通	洗浄方式	回転噴射ノズル+固定噴射方式
定格電流	11.5/11.8A(50/60Hz)	すすぎ方式	ためすすぎ
消費電力	洗浄モーター 150/180W(50/60Hz) ヒーター 1000W 最大消費電力 1150/1180W(50/60Hz)	乾燥方式	強制排気乾燥方式 ヒーター加熱とファンによる送風
外形寸法	(幅)335mm×(奥行)520mm×(高さ)520mm	標準食器容量	食器点数 約40点 ・茶碗…6点 ・汁碗…6点 ・大皿…6点 ・小皿…10点 ・コップ…6点 ・湯のみ…6点 ・小物 (スプーン、フォーク、ばし)
製品質量	約20kg		

電源プラグを差し込んだ状態では電子回路を動作させるため、約1Wの電力を消費しております。

※点検 長年ご使用の食器洗い乾燥機の点検を!



このような症状はありませんか

- 水もれがする。
- こげくさい臭いが出たり、運転中に異常な音や振動がする。
- 食器洗い乾燥機にさわるとビリビリ電気を感ずる。
- 据え付けが傾いたりグラグラしている。
- その他の異常や故障がある。

このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご相談ください。

お客様メモ

DW-SX2500

品番

ご購入年月日 年 月 日

ご購入店名

電話 () -

もよりの当社

ご相談窓口

電話 () -

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

三洋電機株式会社

コンシューマ企業グループ

ライフソリューションズカンパニー

キッチンアプライアンスビジネスユニット

〒520-2198

滋賀県大津市瀬田1丁目1番1号

取扱説明書

スリム

食器洗い乾燥機 家庭用 品番 DW-SX2500

1. 低騒音35dB※

※50Hzの場合

4つのノズルがこするように洗う

2. 上下ジェット水流

美しく清潔に使える

3. ステンレス小物入れ



このたびは食器洗い乾燥機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

保証書は必ず記入事項を確かめて、販売店からお受取りのうえ、この説明書とともに大切に保存してください。

目次

安全上のご注意	1～3
お願い	3
入れてはいけないもの	4
落ちない汚れ	4
各部のなまえ	5～6
付属品	6
操作パネル部のなまえとはたらき	7～8

使いかた	9～10
食器の入れかた	11～14
コース別操作の手順	15～18
・「標準」コース	15～16
・「スピーディ」コース	15～16
・「高温殺菌」コース	15～16
・「節約」コース	15～16
・「洗剤なし」コース	15～16
・「乾燥のみ」コース	17～18
いろいろな運転のしかた	19
ブザー音について	19
お手入れ	20
所要時間の目安	21

仕上がりが悪いと思われる場合	22
据え付け	23～26
こんな表示がでたら	27～28
凍結・停電・断水したとき	28
別売品	29
アフターサービスについて	30
仕様	裏表紙

上手に使って上手に節電

安全上のご注意

必ずお守りください

- ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、次の表示で区分しています。

警告 この表示の欄には、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示の欄には、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

! 交流100V、定格15A以上の専用コンセントを単独で使ってください。他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

! 電源プラグのほこり等は定期的にとってください。刃及び刃の取り付け面にほこりが付着している電源プラグは使わないでください。ほこりが付着している場合は、よくふいてご使用ください。火災の原因になります。

! 電源コード・電源プラグが傷んでいるとき、差し込みがゆるいときは使用しないでください。感電・ショート・発火の原因になります。販売店に点検・修理を依頼してください。

! 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしないでください。電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

! アースを確実に取り付けてください。故障や漏電のときに感電する恐れがあります。アースの取り付けは、必ず電気工事店または販売店にご相談ください。

! ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしないでください。感電やけがをすることがあります。また、お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜いてください。

! 動かなくなったり、異常がある場合は、事故防止のため電源プラグを抜いてお買い上げの販売店に必ず点検修理を依頼してください。感電や漏電・ショートなどによる火災の恐れがあります。

! お手入れは運転終了後30分以上にする。食器の取り出し、フィルターやヒーターカバーの掃除、お手入れは運転終了後30分以上経過してから行ってください。やけどをする恐れがあります。

! 火気や引火物を近付けない。火のついたローソク、蚊取り線香、煙草などの火気や、揮発性の引火物を近付けないでください。変形や火災の恐れがあります。

! 本体への水や衝撃は禁物。水につけたり、水をかけたりしないでください。ショート・感電の恐れがあります。

お読みになった後、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保存してください。

絵表示の例

! 記号は、「注意（警告）事項」を示します。（左図の場合は、「一般注意」を示す。）

! 記号は、「禁止事項」を示します。（左図の場合は、「分解禁止」を示す。）

! 記号は、「強制事項」を示します。（左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜く」を示す。）

警告

! 運転中または、終了後30分間はヒーターカバーに触れない。運転中または運転終了後30分間は絶対にタンクやヒーターやヒーターカバーに触れないでください。やけどをする恐れがあります。

! お子様にご注意する。子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないでください。やけど・感電・けがをする恐れがあります。

! ご自分で絶対に分解や修理はしない。改造はしないでください。また、修理技術者以外の人は、分解や修理をしないでください。火災・感電・けがの原因となります。修理は、お買い上げの販売店または当社指定のお客さま相談窓口にご相談ください。

! ガスコンロなどの熱源からは15cm以上離す。火災や変形の恐れがあります。

! 上に重いものや水の入った容器を置かない。天面の上には、質量が6kgを超えるものは置かないでください。天面の上には、落下して危険なもの（水や熱湯の入った容器・熱器具・電気製品・ガラス類・刃物類等）は置かないでください。ドアの開閉で上に置いたものが落ちるとケガをすることがあります。また、こぼれた水で絶縁が悪くなり、漏電や火災の原因になります。

注意

! 本体は、しっかりとした水平な面に据え付けする。正常な運転ができない恐れがあります。

4ヶ所に付いている調整脚で水平に据え付けてください。

! 開いたドアや本体を強く押さない。転倒、落下によりケガをすることがあります。



安全上のご注意

⚠ 注意



給湯器の使用時、使用後は他の水栓から出るお湯に注意してください。

高温のお湯が出る場合があります。やけどをする恐れがあります。



高温水や湯気に注意する

運転中はドアを開けないでください。高温の湯気が出て、やけどをすることがあります。洗淨水が高温になっており、手を触れるとやけどをします。



排気口には近付かない

排気口付近には近付かないでください。漏気・温風によりやけどをすることがあります。



電源コードの取り扱い

電源プラグを抜くときは、コードを握らずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。感電やショートして発火することがあります。



長期間使用しない時は電源プラグを抜く

長期間ご使用にならないとき、異常があるときは、必ず水栓を閉じ電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



本機からの排水には触れないように注意してください

高温の場合があり、やけどをする恐れがあります。



お願い

専用洗剤以外は使わないで



- 一般の台所用洗剤を使用すると泡が異常に発生し、運転できません。
- 一般の台所用洗剤が付いた食器は、入れないでください。
- ※異常表示が出る場合があります。

ⓘ こんな表示がでたら (U3 表示) 参照

70℃以上のお湯は使わないで



- 70℃以上のお湯が供給される蛇口には接続しないでください。
- ホースや内部の部品が破損する恐れがあり運転を停止することがあります。

ドアラッチの穴や排気口に物を入れたりふさがらないで



- ドアラッチの穴や本体前面の排気口には指や物を差し込まないでください。故障や事故の原因になります。

入れてはいけないもの

➡ 内の数字は説明のあるページです。

プラスチック容器等の軽くて小さい食器



- 洗淨水で飛ばされ下に落ちる場合があります。
- ヒーターカバーの上に落ちた場合、ヒーターの熱で変色したり、焦げたような臭気が出たりするので入れないでください。発煙や故障の原因となります。

ふきん・スポンジなど



- 食器および調理器具以外は入れないでください。発火・発煙の恐れがあります。

びん・徳利などの食器・ひびの入った食器



- 口の小さいものは、中が洗えません。
- ひびが入った食器は割れる恐れがあります。

鍍金・洋銀製食器など



- 金色にかわり、その後変色します。

耐熱90℃以下の樹脂製のもの

(耐熱表示のないものも含む)

ほ乳瓶の乳首など小さくて細状のもの



- 変形します。
- ※まな板に関しては ⓘ まな板の場合 参照

クリスタルガラス・カットガラス・強化ガラス



- クリスタルガラスは、表面が侵食され白くにごります。
- カットガラス・強化ガラスは、水温変化で割れることがあります。
- ※乾燥のみでの使用は可能です。

漆塗り食器・重箱・金箔入りの食器・木製の食器



- はがれる恐れがあります。

アルミ製の鍋や食器



- 白くなり、その後灰色に変色します。

落ちない汚れ

- 手洗いでも落とすにくい汚れは、そのまま入れてもきれいに洗えません。
- こすり落としてから入れるか、手洗いしてください。一般の台所用洗剤で手洗いされた食器を入れるときは、洗剤が残らないように十分に洗い流してください。すすぎが不十分だと、庫内で泡が異常に発生し、正常に運転できません。
- ※異常表示が出る場合があります。 ⓘ こんな表示がでたら (U3 表示) 参照

〈例〉



グラタンのかげつき



茶わん置などのがっかり汚れ



鍋の焼けこげ



口紅の汚れ
(唾液や歯粉により、落ちない場合があります。)

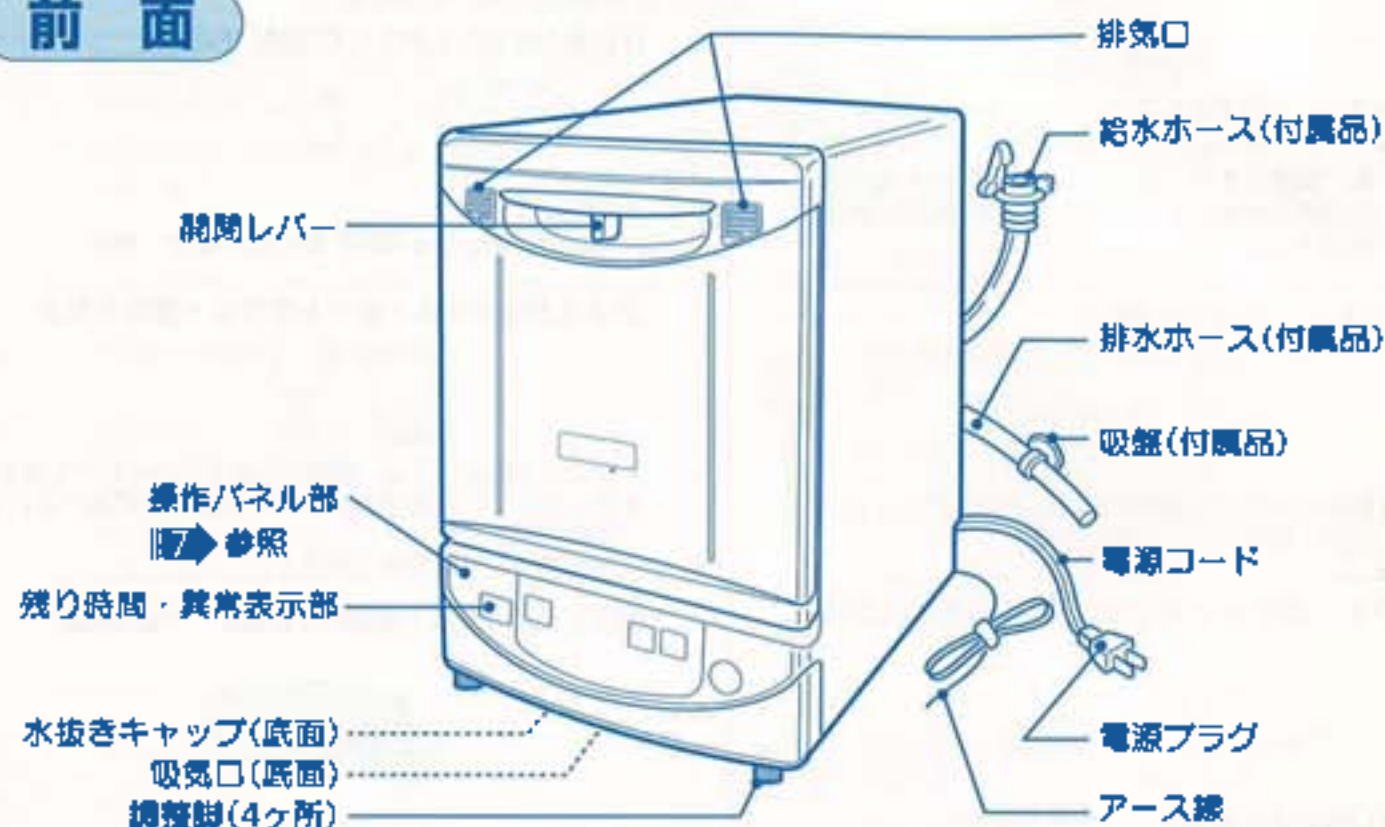


レモン汁をかけたさしみの跡

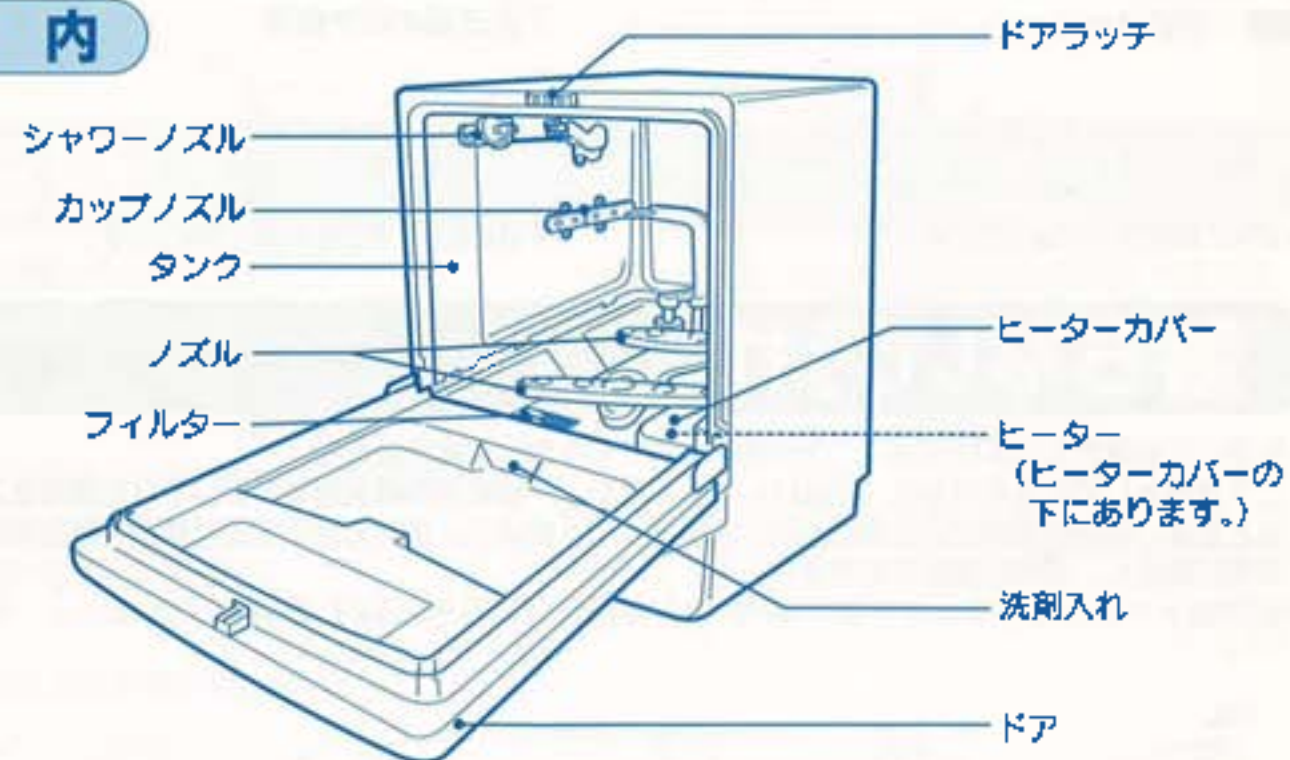
各部のなまえ

内Ⓐの数字は説明のあるページです。

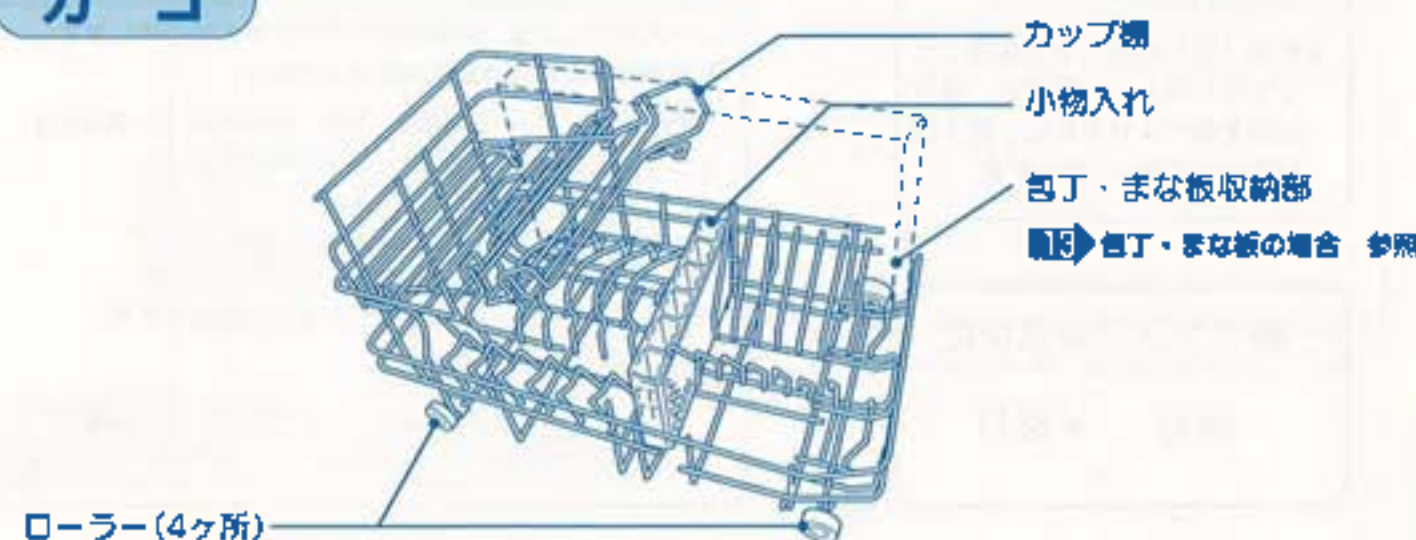
前面



庫内



カゴ



注意 包丁・まな板収納部には、包丁・まな板を同時に入れることはできません。

付属品

内Ⓐの数字は説明のあるページです。



- この機種には、「マジックジョイント」を同梱しておりません。
- 水栓に給水ホースを接続するときは、かならず「分岐水栓」か「マジックジョイント」が必要です。

Ⓐ26 補え付け 参照

お願い

専用洗剤について

食器洗い乾燥機専用洗剤を必ずご使用ください。
一般台所用洗剤を使用されますと、泡が異常に発生し、
運転できなくなります。

Ⓐ29 別冊品 参照

使用前の準備

操作パネル部のなまえとはたらき

内数字は説明のあるページです。

格別電力について

- 電源「切」の場合でも電源プラグを差し込んだ状態では、電子回路を動作させるため、約1Wの電力を消費しております。

表示ランプの見かた

- 消灯
- 点灯

「乾燥」ボタン

コースを選んだ後、乾燥時間を変更するときに押します。乾燥運転中は間欠送風のみ変更できます。

標準・スピーディ・高温蒸気・節約・洗剤なし コースのとき



- スピーディコースの場合、※から切り換わります。

乾燥のみ コースのとき



「コース」ボタン

コースを選ぶときに押します。ボタンを押すごとにランプが移動します。

- 食器の汚れ具合、洗いかたに応じて選びます。
- 「乾燥のみ」コースは、コースランプをすべて消して選びます。
- 運転がスタートしてからコース変更はできません。一度電源を切り、やり直してください。

電源スイッチ

押すと「入」になり、もう一度押すと「切」になります。

オートオフ機能

- スタートせずに放置していると10分後に「切」になります。
- 運転終了後自動的に「切」になります。「間欠送風」を取り消したときは、運転終了後10分間、間欠送風運転を行なった後に「切」になります。

SANYO 残り時間(分)

乾燥

- 乾燥60分
- 乾燥20分
- 間欠送風

- 標準
- スピーディ
- 高温蒸気
- 節約
- 洗剤なし

コース

スタート

一時停止

電源 切/入 (オートオフ) Dw SK2500151

低騒音仕様

残り時間・異常表示部

運転中は、残り時間の目安を表示します。

- 「間欠送風」の所要時間は、残り時間に含まれていません。
- 残り時間が99分をこえるときは、2H と表示します。

2 残り時間表示の途中修正について 参照
異常が発生したとき点滅表示とブザー音でお知らせします。

23 こんな表示かてたら 参照

間欠送風

乾燥行程後の食器や庫内の結露を防ぐため、間欠送風運転を約60分間行ないます。(ヒーターは入りません。)

- 各コース終了後、自動的に入ります。間欠音がしますが、異常ではありません。
- 間欠送風は「乾燥」ボタンで取り消すこともできます。

7 「乾燥」ボタン 参照

間欠送風の特徴

- 「スタート/一時停止」ボタンは受け付けません。
- ドアを開くと一時停止状態となります。ドアを閉めると運転を再開します。
- 運転を止める時は、電源スイッチを「切」にしてください。
- 10分以上ドアを開いていると、自動的に電源スイッチが切れます。
- カラッと仕上げ中は、「間欠送風」のランプのみ点灯します。

「給湯」ランプ

給湯配管に接続したときにこのランプを点灯させます。「コース」ボタンで「給湯」ランプを点灯させます。

- スタート前に「コース」ボタンを押すとランプが移動し「給湯」ランプが点灯して給湯仕様になります。(ランプ消灯時は給水仕様です。)
- 給湯仕様で運転が終了すると、次回運転するときは自動的に「給湯」ランプが点灯し、給湯仕様になります。

21 給湯機能について 参照

※「標準」「スピーディ」「高温蒸気」「節約」「洗剤なし」コースで設定できます。

給水配管に接続して運転するとき

- 「給湯」ランプが消灯していることを確認してください。ランプが点灯しているときは、スタート前に「コース」ボタンを押して、ランプを消灯させてください。
- 電源プラグをコンセントから抜くと初期設定の給水仕様になります。

「スタート/一時停止」ボタン

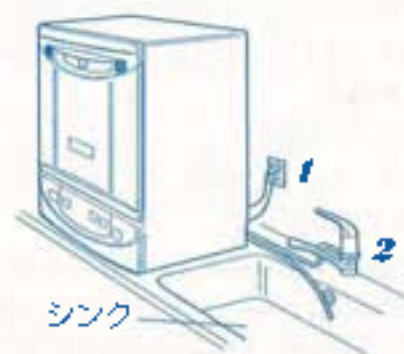
運転を「スタート」または「一時停止」させるときに押します。

- 一時停止させた後、再びスタートさせるときは、もう一度押します。

お願い

運転中にドアを開くときは、ボタンを押して一時停止状態にしてからゆっくり開けてください。再びスタートさせるときは、ドアを開けてからもう一度ボタンを押してください。ボタンを押さずにドアを開けた場合も、自動的に一時停止状態になります。

運転前の準備

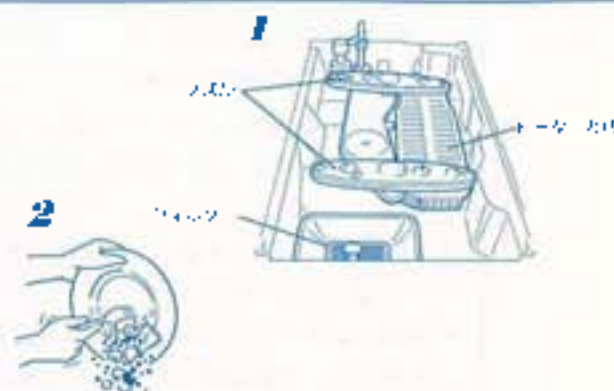


123 ~ 125 据え付け 参照

- 1 電源プラグを差し込む
- 2 分岐水栓のコックを開ける

お願い
運転終了後は必ず水栓を閉めてください。

食器を入れる前に



- 1 フィルターを正しくセットする
- 2 食器の残菜（食べ残し）を取り除く

お願い
ひどい油のかたまり、ごはん粒、わかめ、かつおぶし、魚の骨、つまようじ、輪ゴムなどは取り除いてください。

食器をセットする

- 1 カゴをゆっくり引き出し食器をセットする
11 ~ 14 食器の入れかた 参照
- 2 カゴを庫内にゆっくり入れる
- 3 洗剤入れに **専用洗剤** を入れる
（「乾燥のみ」・「洗剤なし」コースは除く）
- 4 ドアを閉める
開閉レバーを「とじる」の位置に合わせる

運転する

コースを運転する

- 標準** → 食後すぐに洗うとき（ふつうの汚れのとき）
- スピーディ** → 事前につけ置き洗いや水洗いをしたとき（軽い汚れのとき）
- 高温蒸気** → 油汚れの多い食器や調理器具を洗うときより衛生的に洗うとき
- 節約** → 汚れが少ないときや、少量の食器を洗うとき
- 洗剤なし** → ごく軽い汚れのとき
- 乾燥60分** → 手洗いした食器を乾燥するとき
- 乾燥20分** → 食器をあたためるとき

給湯接続の場合

給湯ランプが点灯しているか確認してください。
※排水時、シンクがボコンと音を出すことがありますが、異常ではありません。

お願い

専用洗剤以外は絶対に使用しないでください。
一般の台所用洗剤では、泡の異常発生で正しく動作しません。

- 洗剤は付属のスプーン山盛り一杯分（5.5g）を洗剤入れに入れる。
- 油汚れの多い場合は洗剤を多めに入れる。



※「節約」コース運転の場合

- スタート後に食器を追加するときには
 - **スタート/一時停止** ボタンを押す
 - ドアをゆっくり開ける
 - 食器を追加し、ドアを閉める
 - **スタート/一時停止** ボタンを押す
- ※追加した食器は仕上がりが悪くなる場合があります。

- スタート後のコース変更はできません。
- スタート後の乾燥時間の変更は **乾燥** ボタンを押して行なってください。

運転後のあとしまつ

警告

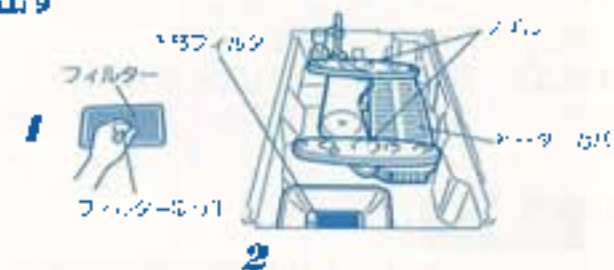
乾燥終了直後はフィルター取っ手やヒーターカバー及びヒーターの表面が熱くなっています。食器の取り出し・フィルターの掃除・お手入れは、乾燥終了後約30分たって庫内が冷えてから行なってください。やけどをする恐れがあります。

- 1 フィルターのお手入れをする
 - ノズルに当たらないようにフィルターを取り出す
 - 残菜を捨て、フィルターを洗う
（汚れが落ちにくい場合は、ブラシでこすり落としてください。）

2 フィルターをもとどおりセットする

ご注意

フィルターを洗わないと目づまりして正常な運転ができなくなる場合があります。下部フィルター及びヒーターカバーに残菜がたまった場合は取り除いてください。
120 下部フィルターのお手入れ 参照
下部フィルター部に残水がありますが異常ではありません。



食器の入れかた

食器を入れるとき

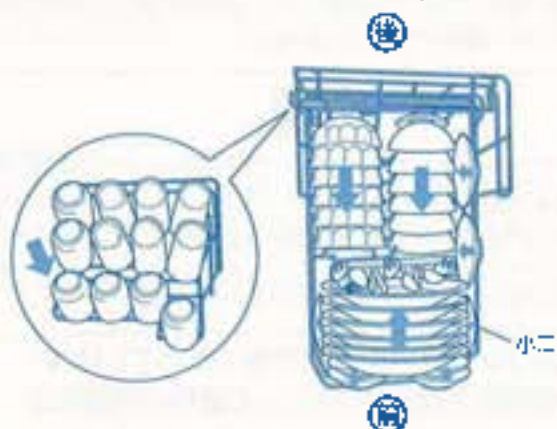
- 食器の内面を矢印方向に向けて入れてください。

(食器セットの向きが逆の場合洗いがりが悪くなります。)

- 食器を入れる順序は、右図を参照してください。
- 食器の形状によっては、所定の場所に入らない場合があります。
- 特に大きい食器類は、食器間のスキ間を取るため一つおきに入れてください。

標準食器量

茶わん	6点	湯のみ	6点
飯物わん	6点	コップ	6点
大皿(27cm)	6点	小物	スプーン フォーク はし
小皿	10点		



食器を取り出すとき

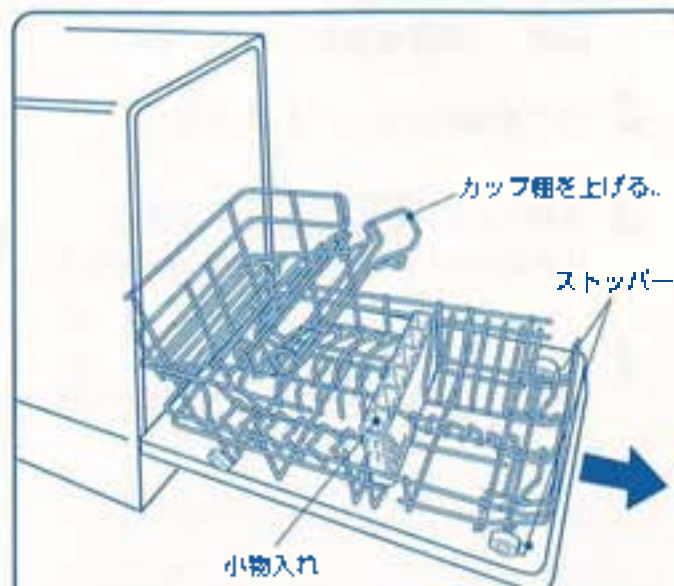
- 入れるときの逆の順序で、また皿や茶わんは、一つずつ取り出してください。(右図参照) 数枚同時に取り出したりすると、食器どうしが当たって欠けることがあります。
- カゴは、ゆっくり引きだしてください。勢いよく引き出すと食器が落下することがあります。

お願い

ヒーターカバー上に樹脂食器が落下したとき

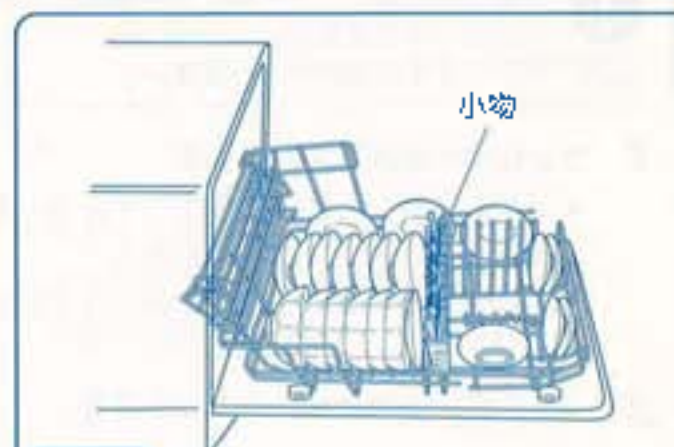
- 電源スイッチを「切」にし、30分以上経過して庫内が冷えてから取り除いてください。ヒーターカバーに固着して取り除けない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

1 カゴをゆっくり引きだす



カゴをストッパーより先に引きださないでください。

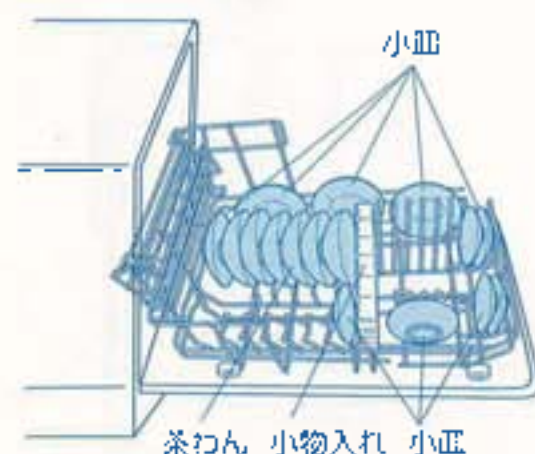
4 はしは汚れた方を下に、その他の小物は汚れた方を上にして入れる



お願い

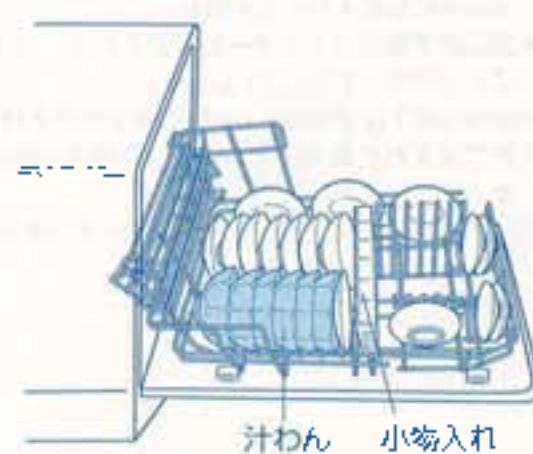
漆塗り・金箔入りのはしは入れないでください。はがれる恐れがあります。小物が小物入れの横から飛び出さないように注意してください。プラスチック製のはしやフォーク、スプーン、バターナイフなどは特に注意してください。落下して、ヒーターカバーやヒーターに触れると落けたり、臭いの原因になります。

2 茶わん(6枚)を入れる 小皿(10枚)を入れる



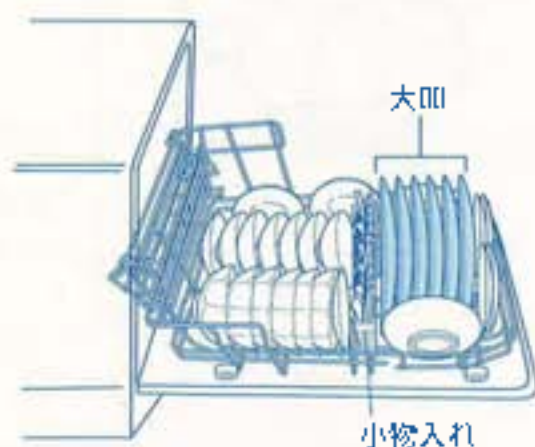
茶わんは、小物入れに近い方からセットしてください。

3 汁わん(6枚)を入れる



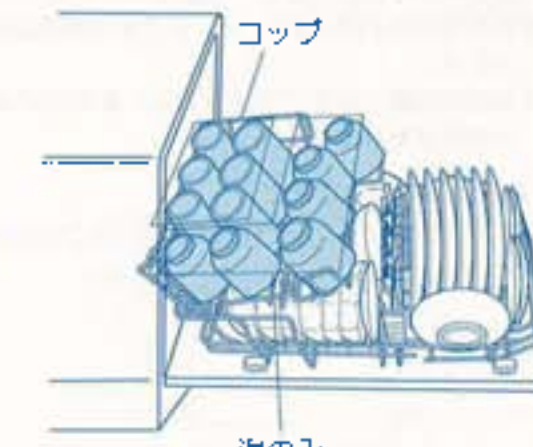
汁わんは、小物入れに近い方からセットしてください。

5 大皿(6枚)を入れる



大皿が重なり合わないようセットしてください。小物入れに近い方からセットしてください。

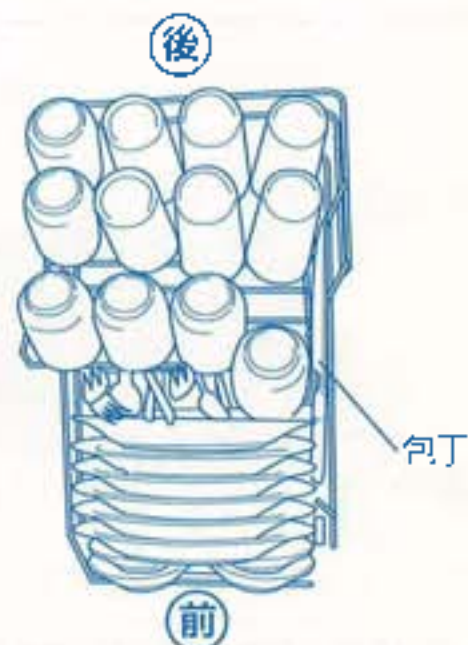
6 カップ棚をおろして コップ、湯のみをおく



食器の入れ方 (つづき)

包丁の場合

- 包丁をセットするときは、ケガ防止のために刃の部分を下向きに入れてください。
- 運転終了後のフィルターのお手入れは、包丁を取り出してから行なってください。
- 鉄製の包丁はさびることがありますのでご注意ください。
- ※包丁を入れた場合、セットできる食器点数は約37点です。
- ※包丁のサイズは、長さ33cmまで入れられます。

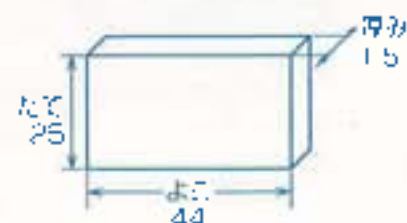


まな板の場合

- まな板は汚れのひどい側を内側に向けてください。
- 木製まな板はキズの奥に入り込んだ汚れが洗えない場合があります。プラスチック製まな板をご使用ください。
- プラスチック製まな板は耐熱温度70℃以上のものをお使いください。
- また、乾燥後しばらくは熱により変形しやすくなっています。取り扱いには十分注意してください。
- ※まな板を入れた場合、セットできる食器は約35点になります。
- ※食器の形状・大きさによっては、まな板がセットできない場合があります。

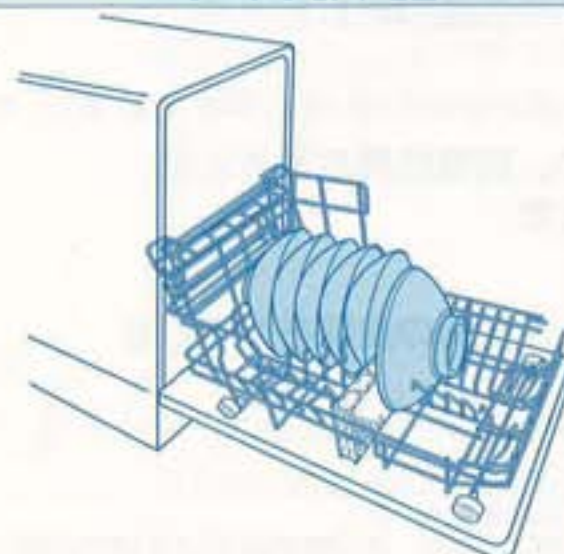
洗えるまな板の大きさ

- 厚み1.5cm以下、たて25cm以下、よこ44cm以下

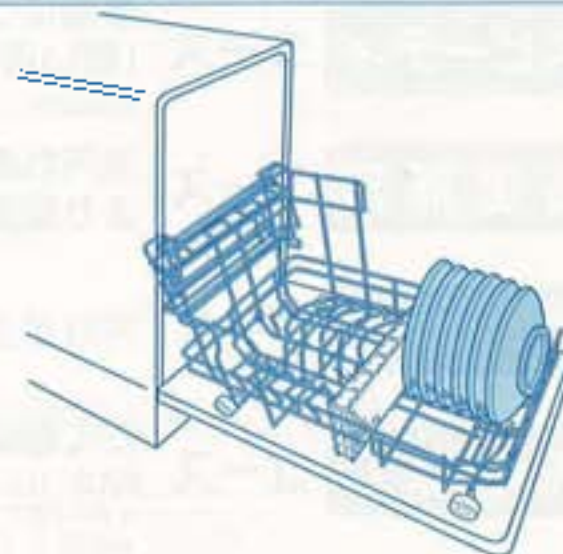


いろいろな食器のセット例

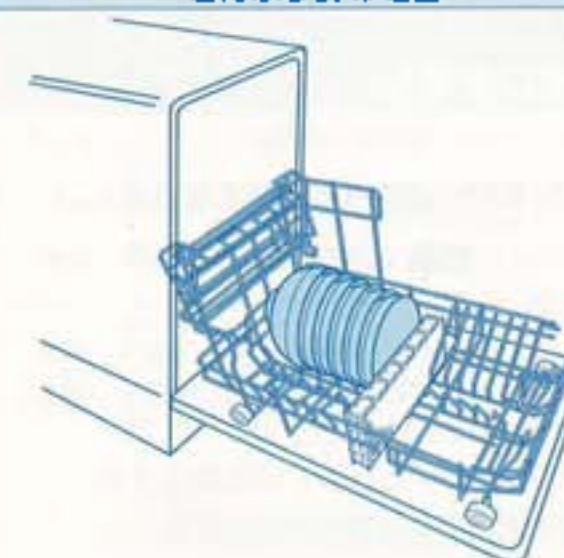
ラーメン鉢の場合



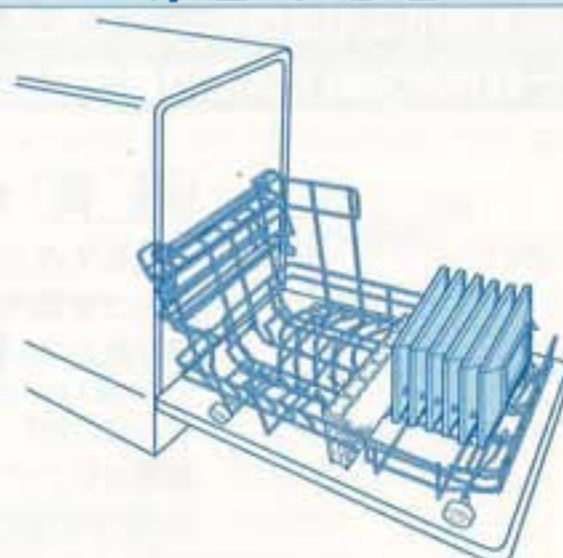
カレー皿の場合



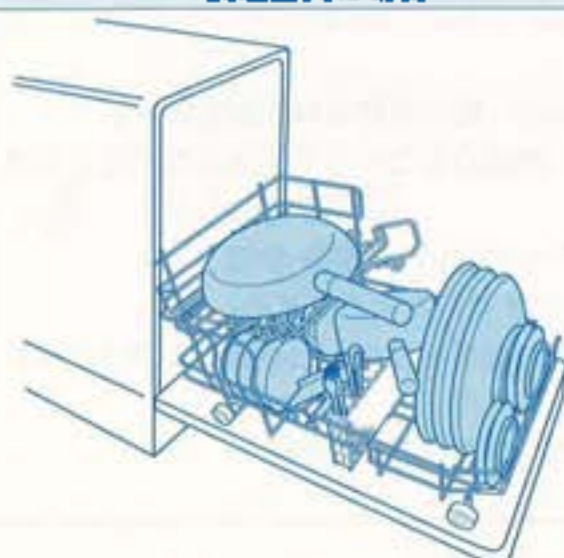
どんぶり鉢の場合



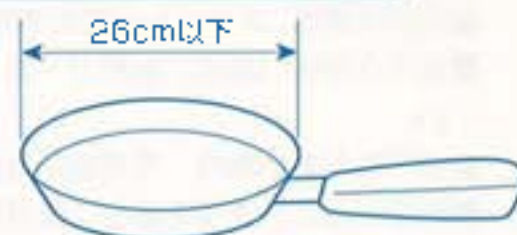
角皿の場合



調理器具の場合



洗えるフライパンの大きさ



※食器・調理器具の形状によっては、所定の場所に入らない場合があります。

- 標準コース** 食後すぐに洗うとき（ふつうの汚れのとき）
- スピーディコース** 事前につけ置き洗いや水洗いをしたとき（軽い汚れのとき）
初期設定は、乾燥なしです。必要に応じて乾燥時間を選べます。▶「乾燥」ボタン 参照
- 高温蒸気コース** 油汚れの多い食器や、調理器具を洗うときより衛生的に洗うとき
- 節約コース** 汚れが少ないときや、少量の食器を洗うとき
- 洗剤なしコース** ごく軽い汚れのとき
例えば、パン、コンソメスープ、うどん、野菜サラダ、冷奴などのメニュー
●卵などのたんぱく質やご飯は洗えない場合があります。
●連続して「洗剤なし」コースを使用する場合は、週1回程度は専用洗剤を入れて「標準」コースで運転してください。

必ず専用洗剤を使用してください。
一般台所洗剤では泡の異常発生で正しく動作しません。

- 準備** 水栓を開く（水栓を開け忘れると運転できません。）
- 食器をカゴにセットする ▶▶▶ 食器の入れかた 参照
 - カゴを庫内にゆっくり入れる
 - 洗剤入れに **専用洗剤** を約一杯分入れる ▶▶▶ お取り扱い 参照
※洗剤入れに必ず入れてください。その他の場所（庫内など）に入れると、給湯仕様に設定したとき、洗剤が流れ出てしまいます。
 - 静かにドアを閉める。開閉レバーを「とじる」の位置にする
ドアを強く閉めると洗剤がこぼれ落ちる恐れがあります。

- スタート後の「コース」変更はできません。
- 乾燥時間は、スタート後でも変更できます。乾燥運転中は、間欠送風のみ変更できます。
- 油汚れが多い場合、節約コース・スピーディコース・洗剤なしコースでは洗わないでください。
- 油汚れが多い場合、専用洗剤を約一杯半～二杯入れてください。▶▶▶ 参照
- 給湯仕様でご利用の場合、給湯器の温度設定を60℃にすることをおすすめします。
運転終了後、給湯器の温度設定を元に戻してください。他の水栓から出るお湯でやけどをする恐れがあります。
- スタート後、食器を追加すると仕上がりが悪くなる場合があります。

■「標準」コースの初期設定を表示しています。



1 電源スイッチを押し電源を「入」にする

2 コースを押しコースを選ぶ

給湯のコースの場合

給湯ランプが点灯しているか確認してください。

▶▶▶ 「給湯」ランプ 参照

乾燥を必要に応じて押す

（乾燥時間の変更ができます。）

ご注意

OP表示が出たらもう一度ドアを開け直してください

▶▶▶ 「乾燥」ボタン 参照

3 スタート/一時停止を押して運転をスタートする

ブザーが3回鳴ったら運転終了

その後「間欠送風」に入ります。
「間欠送風」ランプのみ点灯します。
終了後はブザーは鳴らず、電源が「切」になります。
（初期設定は、「間欠送風」ありになっています。）

乾燥時間・間欠送風の変更ができます。

▶▶▶ 「乾燥」ボタン 参照

▶▶▶ 「間欠送風」 参照

■「洗い」「すすぎ」の温度について

コース	標準	スピーディ	高温蒸気	節約	洗剤なし
洗い	60℃	52℃	80℃	50℃	40℃
すすぎ	70℃	63℃	70℃	70℃	70℃

4 あとしまつ

- 水栓を閉める
- フィルターのおとしまつをする
フィルターを取り出す時、ノズルに当たらないように、ノズルの方向を横に向けてください。
（運転終了後、約30分たって庫内が冷えてから行なってください。）
- ▶▶▶ 運転後のあとしまつ 参照

乾燥のみ コース

乾燥60分 手洗いた食器を乾燥するとき

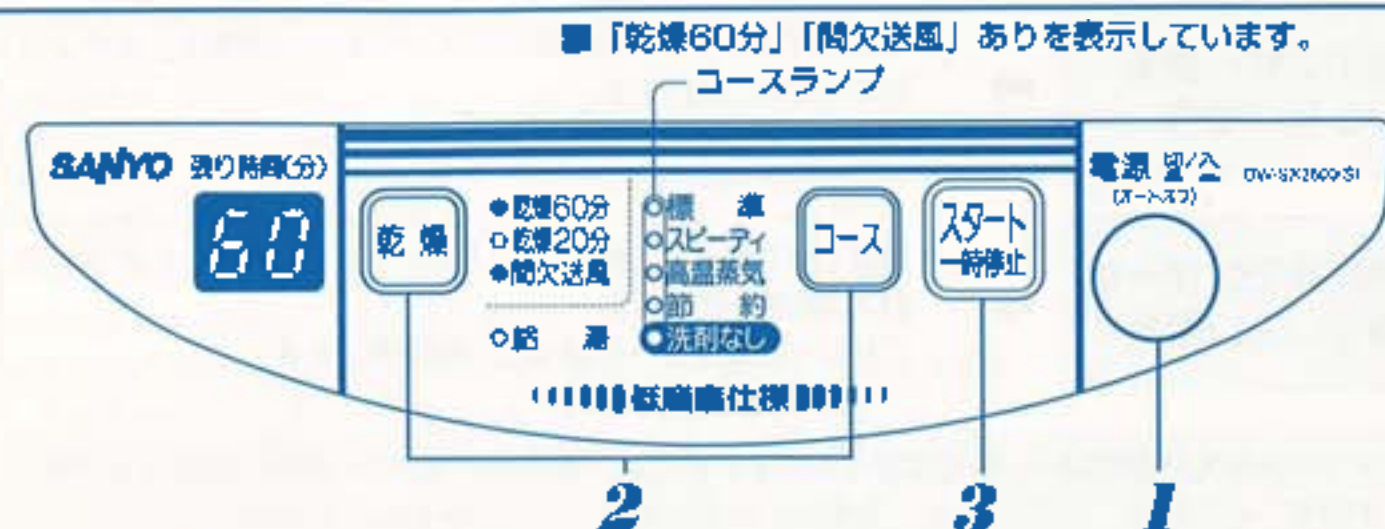
乾燥20分 食器をあたためるとき

準備

- 食器をカゴにセットする
- カゴを庫内にゆっくり入れる
- 静かにドアを閉める

開閉レバーを「とじる」の位置にする

- 「乾燥のみ」コースは、洗剤を入れないでください。
- スタート後のコース変更はできません。
- 乾燥運転中は、間欠送風のみ変更できます。
- スタート後に食器を追加すると仕上がりが悪くなる場合があります。



1 電源スイッチを押し電源を「入」にする

2 コース を押しコースランプを
全て消す
↓
乾燥 を必要に応じて押す

ご注意
表示が出たらもう一度
ドアを開け直してください

「乾燥」ボタン 参照

3 スタート/一時停止 を押し運転をスタート
する
↓
ブザーが3回鳴ったら運転終了

間欠送風の変更ができます。
「乾燥」ボタン 参照
「間欠送風」 参照

その後「間欠送風」に入ります。
「間欠送風」ランプのみ点灯します。
終了後はブザーは鳴らず、電源が「切」になります。
(初期設定は、「間欠送風」ありになっています。)

いろいろな運転のしかた

終了ブザー音を消したい場合



- 電源スイッチ「入」の状態です「スタート/一時停止」ボタンを約3秒間押し続けます。
「ピー」とブザーが鳴ったら設定完了です。

再び終了ブザーを鳴らしたい場合



- 電源スイッチ「入」の状態です「スタート/一時停止」ボタンを約3秒間押し続けます。
「ビビッ」とブザーが鳴ったら設定完了です。

※スタート時及び運転中いつでも設定できます。ただし、運転中に行うと一時停止状態になりますので、その際は、「スタート/一時停止」ボタンを押し再スタートしてください。
※停電したときや電源プラグを抜いた場合、終了ブザーが鳴る状態にもなります。

排水したい場合



- 排水のみをしたいときは、「コース」ボタンで「乾燥60分」、又は「乾燥20分」コースを選んで運転してください。
スタート後約1分ぐらいで排水は完了しますので、必ず電源スイッチを「切」にしてください。
電源スイッチを切り忘れた場合は、続けて残り時間の乾燥運転を行います。

コースボタンを押しまちがえてスタートした場合



- 電源スイッチをいったん「切」にし、はじめからやり直してください。

ブザー音について

1 → 内の数字は説明のあるページです。

音の回数	内容	処置のしかた
3回 (ピー、ピー、ピー)	● 終了ブザー	運転が終了した合図です。 終了ブザー音は取り消すこともできます。 112 → いろいろな運転のしかた 参照
4回 (ビ、ビ、ビ、ビ)	● 電源スイッチを入れ、いずれかの操作ボタンを押したとき (残り時間・異常表示部に「OP」が表示されます)	ドアが開いていません。 ドアを確実に閉めてください。 開閉レバーを「とじる」の位置に合わせてください。
3回 (ビビッ、ビビッ、ビビッ)	● 運転中ドアを開けたとき	庫内が高温になっている場合がありますので注意してドアを開けてください。

お手入れ

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜き、庫内が冷えてから行なってください。運転終了直後は底にあるヒーターやヒーターカバーが高温のため、さわるとやけどをする恐れがあります。

本体のお手入れ

本体表面は、ぬれたやわらかい布で汚れをふいてください。

- 汚れがひどいときは、台所用洗剤をしみ込ませてふいてください。
- ペンジン、シンナー、クレンザー、ワックスなどの使用はやめてください。
(塗装面やプラスチック部を傷めます。)
- 前部の排気口にゴミがつまったら、掃除機などで取り除いてください。
ドアやタンクの内面は、やわらかい布で丁寧にふいてください。
- においや内面の汚れが気になるときは、専用洗剤を使用し、食器を入れずに空運転してください。(ただし、カゴは入れて運転してください。)



ノズルのお手入れ

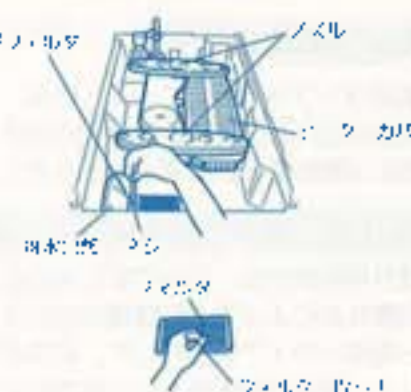
- ノズルの穴に異物がつまった場合は、まず、カゴを取り出しノズルの穴の異物をつまようじなど先のとがった物で取り除いてください。(この時、ノズルに大きな力を加えないでください。故障の原因になります。)
 - ノズルが手で軽く回ることを確認してください。
- ※ノズルは、はずれない構造になっていますので、絶対にはずさないでください。



下部フィルターのお手入れ

再汚染防止のために二重フィルター構造を採用しています。

- 下部フィルターが目づまりした場合には、ネジをプラスドライバーではずし、下部フィルターを取り出して、たまった残葉をきれいに取り除いてください。
 - 異物がつまったままの状態ですと、ノズルからの水の出が悪くなり、正常に運転しない場合があります。
 - 下部フィルターをはずしたとき、底部に残水がありますが異常ではありません。
- ※下部フィルターを取り付けるとき、ネジを締めすぎないようにしてください。



長期間使用しない場合

- 水栓は、必ず閉めてください。万一の水もれを防止するためです。
- フィルター及び下部フィルターにたまった残葉をきれいに取り除いてください。
- カゴから食器を取り出してください。
- 本体底面にある、水抜きキャップを外して、庫内の残水を抜いてください。水抜き後、必ず水抜きキャップをもとの位置に正しく取り付けてください。
- 次にお使いになるときは、専用洗剤を使用し、カゴには食器を入れずに空運転してからお使いください。

所要時間の目安

内数字は説明のあるページです。

●下表の所要時間は、給水は給水温度20℃、給湯は給湯温度60℃の場合の目安です。

〔給水量約6L/分、室温20℃の時〕

〔所要時間は、水温・水圧・室温によって変わります。〕
〔下表の所要時間には、「間欠送風」の時間は含まれません。〕

コース	給水/給湯	所要時間	所要時間の内訳						説明のページ	
			給湯準備 1分	洗い	すすぎ 1 2 3			加熱すすぎ		乾燥
標準	給 水	約69分		22分				27分	20分	115→116
	給 湯	約53分		18分				14分	20分	
スピーディ	給 水	約35分		17分				18分		115→116
	給 湯	約15分		7分				8分		
高温蒸気	給 水	約91分		44分				27分	20分	115→116
	給 湯	約75分		37分				17分	20分	
節 約	給 水	約63分		18分				25分	20分	115→116
	給 湯	約47分		13分				13分	20分	
洗剤なし	給 水	約65分		20分				25分	20分	115→116
	給 湯	約49分		14分				14分	20分	
乾燥60分	—	約60分							60分	117→118
乾燥20分	—	約20分							20分	117→118

※1 すすぎ2回目終了後の水温が約40℃以上あるときは3回目のすすぎは行ないません。

（すすぎ行程は、水温に関係なく各1分間すすぎを行ないます。）

※2 洗剤なしコースは予洗を行ないます。予洗の所要時間は洗いに含まれています。

●「スピーディ」コースは、給湯準備約1分を所要時間を含んでいません。

給湯接続について

- 給湯ランプが点灯しているときは、スタート直後に給湯準備行程を行ないます。
- 給湯準備行程では、給湯配管にたまった冷たい水を排水し、洗浄開始から給湯温度で食器の洗浄を行なうために、約1分間の給・排水を行ないます。

残り時間表示の途中修正について

- 残り時間表示は、途中で修正を行ない、目安の時間表示を変えています。これは、室温や給水温度・食器の数・ドアの開閉などによって運転時間が変わるためです。故障ではありません。
- 一時停止やドアを開閉して、再スタートしたとき、残り時間表示が変わる場合があります。これは、水温の変化を検知して、運転時間を変えているためです。

●途中修正のしくみ
 (1)スタート後約3分間 目安の時間を点滅
 (表示例) 63 (1) → 65
 (2)停止直前
 (表示例) 65 → 66
 (3)スタート約3分後修正し目安の時間を点滅
 (表示例) 66 → 67
 (4)加熱すすぎの初めと乾燥行程の10分前に修正を行なう

乾燥60分について

- 冬場など食器が乾きにくい場合は、「乾燥60分」を設定して下さい。

117「乾燥」ボタン 参照

- 「乾燥60分」を設定すると、所要時間は上表より、「標準」「高温蒸気」「節約」「洗剤なし」コースで約40分、「スピーディ」コースで約60分長くなります。

間欠送風について

- 「間欠送風」を設定すると、所要時間は上表より約60分長くなります。（初期設定は間欠送風ありです。）

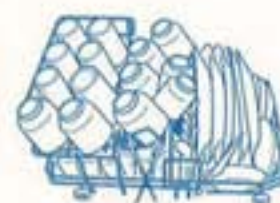
仕上がりが悪いと思われる場合

食器の糸底部に水が残る場合



- 食器の形状やセットのしかたによっては運転終了後、糸底部に水が少し残ることがありますが、異常ではありません。

洗えていないものがある場合



- 食器や小物が置なりすぎていませんか。
- 小物や食器の一部がカゴからはみだして、ノズルの回転を止めていませんか。
- 大きなどんぶり、鉢などがカップ棚の下にセットされていませんか。

食器が黄色く、または薄黒くなっているとき



- 水に含まれている鉄分や茶しぶなどのためです。ときどきは食器をこすって洗ってください。

その他仕上がりが悪い場合

- 食器の汚れた面が上向きになっていませんか。
- 食器のこげつきや、こびりついた汚れは前もってよく落としてから入れましたか。
- むりな入れかたをしていませんか。
- コースの選択は適切でしたか。

ガラス食器に薄い水滴のあとが残る場合



- 水に含まれているミネラル分のためで、洗剤やすすぎ不足によるものではありません。
- 水質硬度の高い地域では洗剤を多め（一杯半～二杯）に入れてください。

庫内に水滴が残る場合



- 運転終了後にタンクの天井やドアの内側に水滴が残ることがあります。これは庫内の結露現象によるもので、異常ではありません。
- 「間欠送風」を使用すると、結露現象による水滴の付着が防げます。

ガラス食器類が白くくもるとき

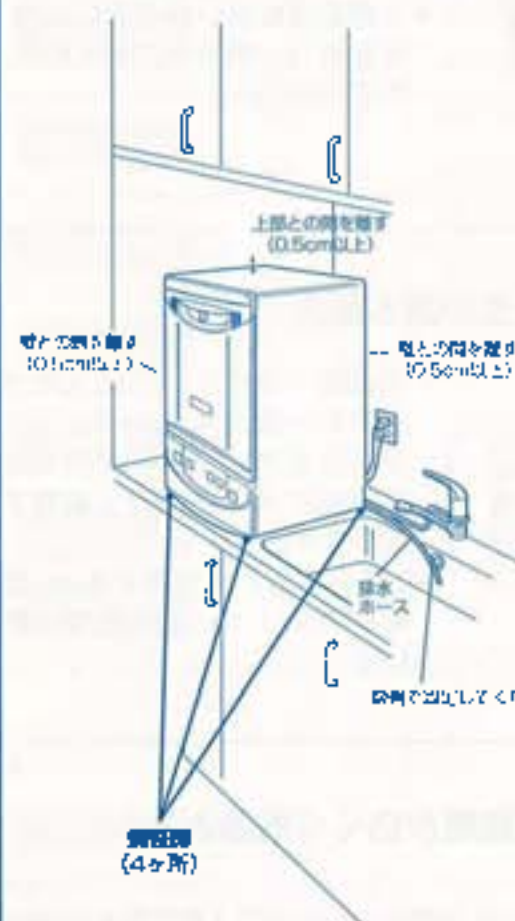
- 表面に小さな傷のついたガラス食器類を高温の洗浄水で洗うと、侵食が進み白くくもることがあります。
- 洗浄温度の低い「スピーディ」コースの使用をおすすめします。

使いかた

その他

- ◆ 本体やカゴに貼ってあるテープや緩衝材などは、全部取りはずしてください。
- ◆ 付属品を確認してください。▶ 付属品 参照

1 設置場所について



警告

ガスコンロなどの熱源からは15cm以上離す



火災や変形の恐れがあります。

- ◆ しっかりとした水平な面に設置してください。
本体4ヶ所の調整脚を調整し、水平にガタツキなく設置してください。
傾いた場所では正しく動作しないことがあります。
- ◆ 排気口から蒸気が出て結露する場合があるため、上方の空間をできるだけあけて設置することをおすすめします。
- ◆ 給水、排水に便利のように、流し台や調理台の上に置くのが理想的です。排水が高温のため、シンクがボコンと音を出すことがありますが無害ではありません。
- ◆ 凍結の恐れのある場所（室温0℃以下）や直射日光のあたる場所への設置は避けてください。
- ◆ キッチン内部など、本体周囲が密閉された場所への設置はしないでください。
- ◆ ガスコンロなどの熱源からは、15cm以上離してください。
- ◆ 本体と壁との間は、0.5cm以上離してください。
設置基準適合により、壁にくっつけて使用できますが、壁の振動防止のため上記寸法以上離すことをおすすめします。

2 電源について

電気工事は、電気設備基準に準じて行なってください。

警告



コンセントは専用で

- ◆ 交流100V、15A以上の専用コンセントをご使用ください。火災の原因となりますのでタコ足配線は絶対にしないでください。

3 アースについて ※アース工事は、有料です。

警告



アース線接続

万一の感電防止のため、必ずアースをしてください。また、アースのほか漏電ブレーカー（定格電流20A・感度電流30mA）の取り付けをおすすめします。（詳しくはお買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。）

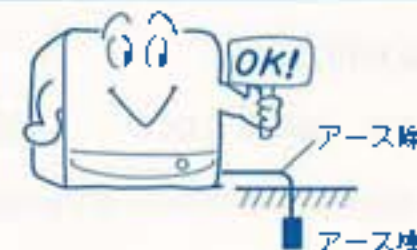
※アースの付けは必ず、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。

コンセント部にアース端子がある場合



アースの先端を確実にアース端子に取り付けてください。

コンセント部にアース端子がない場合



※0種接地工事（第3種接地工事）が必要です。販売店にご相談ください。
（アース工事は電気工事士の有資格者が行うよう法令で定められています）

アース線を取り付けてはいけない場所（法令などで禁止されています。）

次のような場所にはアース線を絶対に取り付けしないでください。

- ◆ ガス管・・・爆発や引火の危険があります。
- ◆ 電話線や避雷針・・・落雷のとき危険です。
- ◆ 水道管・・・途中より塩ビ管になっているところが多いため避けてください。

4 水道水圧の確認

- ◆ 給水の圧力は、0.03MPa (0.3kgf/cm²) 以上、1MPa (10kgf/cm²) 以下です。
水圧が低すぎると給水に時間がかかり、運転時間が長くなります。

5 給湯接続の場合

- ◆ 給湯配管への接続は、水道工事店、またはお買い上げの販売店へご相談ください。
10号以上の先止め式給湯器に接続してください。元止め式の給湯器には絶対に接続しないでください。
※流し台の上につける湯沸器は、元止め式ですので絶対に接続しないでください。
70℃以上のお湯が供給される蛇口には接続しないでください。ホースや内部の部品が破損する恐れがあり、運転を停止することがあります。

6 本体に、給水ホースを接続します。

給水ホースの接続

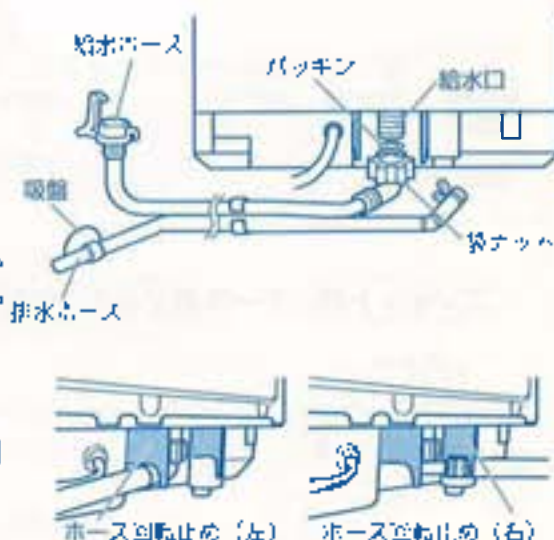
- 給水ホースの接続は、左右どちらかの「ホース回転止め」の側にホースを通して、袋ナットが止まるまで締め付け固定します。バックンは、袋ナットの中に入っています。

- 注意** 給水ホースを締め付けた後、ホースを回転させると袋ナットがゆるみ水もれの原因になります。給水口の内部に入っている部品は取りはずさないでください。給水量を調整するためフローコントローラーが入っています。

給水ホースの延長のしかた

- 別売の給水ホースを、接続してください。 **29** 別売品 参照

- 注意** 給水ホースは切らないでください。水もれの原因になります。



7 本体に、排水ホースを接続します。

排水ホースの接続

- 排水ホースの接続は、排水を出す方向を決めてから、ホースバンドをずらし、排水ホースを差し込み口に挿入します。
- ホースバンドで固定します。
- ホースが折れていないことを確認してください。また、ホースの先端を水につけないでください。
- ホースを壁で固定してください。 **29** 据え付け 1 参照

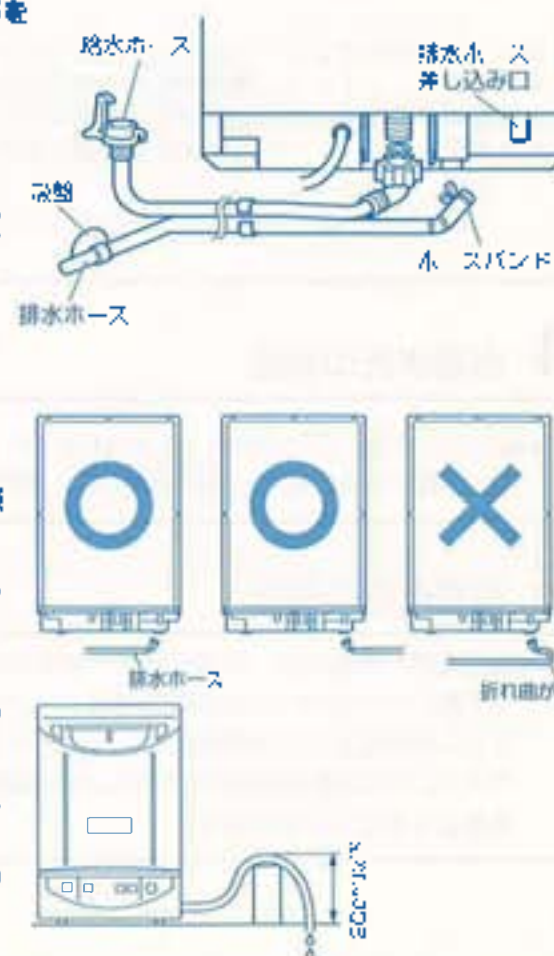
- 注意** 反対方向に引っ張ると、ホースがねじれ、排水不能になることがあります。排水ホースの先端は設置面より低くしてください。また、途中を立ち上げる時は、20cm以下にしてください。

排水ホースの延長のしかた

- 別売の排水ホースを、接続してください。 **29** 別売品 参照

- 注意** 排水ホースが長すぎるときは、切ってください。長すぎると途中で折れ曲がり、排水できなくなります。吸盤は、必ずつけ置きしてください。(吸盤及びシンクは、常に汚れが付着していないようお手入れしてください。)
- 排水ホースは根元まで確実に差し込み、ホースバンドで必ず固定してください。

- 注意** 延長後の排水ホースの高さは設置面より20cm以下、ホース先端の排水口は設置面より低くしてください。ホース先端についていた吸盤ははずし、延長されたホースの先端につけかえてください。延長後の排水ホースの全長は2.5m以内にしてください。



8 水栓に「分岐水栓」または「マジックジョイント」を取り付けます。

- この機種には、「マジックジョイント」を同梱しておりません。
- 水栓の形に合わせて「分岐水栓」または「マジックジョイント」をお買い求めください。
- 「分岐水栓」または「マジックジョイント」については、現在お使いの水道水栓をお調べの上、販売店にご相談ください。
- 水栓への取り付けは、「分岐水栓」または「マジックジョイント」の説明書に従ってください。

分岐水栓について

上部分岐水栓
(CB-E8)



自在分岐コック
(CB-F6)



シングルレバー用水栓
(CB-S88)



分岐ソケット
(CB-S268A8)



- これ以外の分岐水栓も用意しております。購入・取り付けに際しては、販売店とよくご相談ください。

マジックジョイントについて



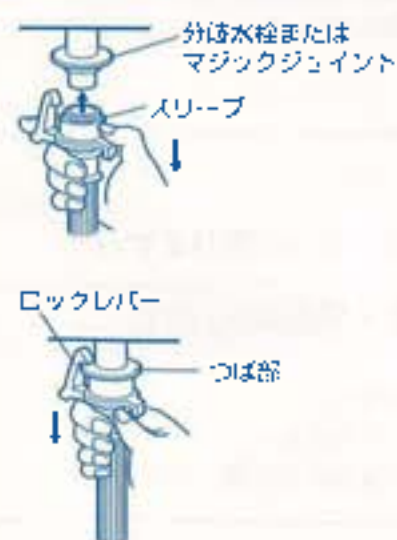
マジックジョイント

29 別売品 参照



- 注意** •すでに古いマジックジョイントがついている場合は、必ず別売の「分岐水栓」又は新しいマジックジョイントに取りかえてください。
- 自在水栓、混合水栓の場合には別売の「分岐水栓」をご使用ください。

9 「分岐水栓」または「マジックジョイント」に給水ホースを接続します。



①給水ホースのスリーブを引き下げたままで分岐水栓またはマジックジョイントに差し込む。

②スリーブをはなし、「バックン」と音がするまで十分に差し込む。

③ロックレバーがつば部にかかっているのを確認した後、ホースを下へ引いて、完全に取り付けができているか確認する。

こんな表示がでたら

内数字は説明のあるページです。

- 残り時間・異常表示部の点滅とブザー音でお知らせします。(ブザーは5分間隔で32回鳴ります。)
下表の点検・処置を行なってください。

表示部	症状	点検・処置のしかた
「表示なし」	●全然運転しない	●電源プラグが確実に差し込まれていますか。 ●電源スイッチを入れましたか。 ●電源ヒューズやブレーカーが切れていませんか。 ●停電していませんか。【23】停電したとき 参照 ●上記点検・処置の後、最初から操作をやり直してください。
	●電源スイッチが「切」の状態でも排水ポンプが動作している	●修理が必要です。 電源スイッチが「切」の状態であっても水あふれを検知した場合は、水漏れを防ぐため自動的に排水ポンプが動作します。 まず必ず水栓を閉じ、次に電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
「数字の表示」	●全然運転しない	■「スタート/一時停止」ボタンを押しましたか。 ■「スタート/一時停止」ボタンを押してください。
E1	●水が入らない	●水栓を開いていますか。 ●断水していませんか。【29】断水したとき 参照 ●上記点検・処置の後、最初から操作をやり直してください。
	●ドアを開けても水が出づけている	●給水が止まらない場合。 必ず水栓を閉じ電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へ修理を依頼してください。
E2	●排水されない	●フィルターに残渣がたまって、目づまりしていませんか。 【25】運転後のあとも参照 ●排水ホースが折れ曲がったりつまったりしていませんか。 ●上記点検・処置の後、最初から操作をやり直してください。
E7	●運転中に水位が下がる	●給水圧が異常に低くありませんか。 ●食器棚が上向きにセットされていませんか。 ●上記点検・処置の後、最初から操作をやり直してください。
E3, E4, E5, E6, E8, E9	上記以外の症状	●修理が必要です。 表示内容を確認して必ず水栓を閉じ電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へ修理を依頼してください。

- 残り時間・異常表示部の点滅とブザー音でお知らせします。(ブザーは4回鳴ります。)

表示部	症状	点検・処置のしかた
OP	●電源スイッチを入れ、いずれかの操作ボタンを押したときブザー音が4回鳴る	●ドアが開いていません。 ドアを確実に閉めてください。 (開閉レバーを「とじる」の位置に合わせ。)

- 残り時間・異常表示部の点滅及び点灯でお知らせします。(ブザーは鳴りません。)

表示部	症状	点検・処置のしかた
U3	●庫内に泡が異常に発生し、排水運転を行った 【U3】表示をし、庫内の泡を洗い流すための動作を約40分を行います	●専用洗剤以外をご使用されていませんか。【26】お買い上げ参照 ●一般の台所用洗剤で手洗いされたときは食器に付いた洗剤を十分に洗い流されましたか。【24】落ちない汚れ 参照 ●上記にあてはまる場合は、庫内の泡を洗い流すために、【U3】表示をし、給・排水を行います。動作後、電源が自動的に「切」になります。 ●電源「切」を確認し、最初から操作をやり直してください。

- 修理が必要な項目以外でも点検・処置をして症状が改善されない場合は、必ず水栓を閉じ、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。
(この時、残り時間・異常表示部の表示内容を記録して販売店に説明してください。)
●ご家庭での修理は危険ですのでしないでください。

凍結・停電・断水したとき

凍 結	①電源スイッチを「切」にし、タンク内に70℃くらいの湯を約3L(ヒーターがつかう程度)入れ、解凍してください。 	②給水・排水ホースの場合は湯につけて解凍してください。 	③解凍後、電源スイッチを「入」にし、「スピーディ」コースで運転できることを確認してください。 
停 電	①電源スイッチを「切」にします。 ②停電が回復したら、はじめから操作をやり直してください。		
断 水	①電源スイッチを「切」にします。 ②断水が回復してから使用する場合は、まず給水ホースを水道蛇口からはずし、にこった水がないことを確認した後、再び正しく取り付けて運転を開始してください。		

その他

別売品

お求めの際は、お買い上げの販売店または別紙「お客さま相談窓口」に記載しているお近くの「修理相談窓口」へご相談ください。

(メーカー希望小売価格は2002年11月現在・税別)

専用洗剤

- 必ず食器洗い乾燥機専用洗剤をご使用ください。
- テンブロンやタンパクに強い酵素配合
- 茶しぶやガソリン汚れにも強い。



ハイウォッシュA
N-HS80A(800g入)
(商品番号 617 248 4075)

メーカー希望小売価格 980円

設置プレート (ステンレス製)



(KA-DW-SP11)
シンクの上のスペース
が有効活用できます。
出窓に設置する場合にも活用
できます。
(幅620×奥行336mm)

メーカー希望小売価格 4,000円

給水ホース



付属の給水ホース
が短い場合に使用
します。

(長さ2.2m: 部品番号 617 127 0989)
メーカー希望小売価格 2,000円

(長さ3.2m: 部品番号 617 127 0952)
メーカー希望小売価格 2,400円

マジックジョイント

(全自動洗濯機の部品と共通です。)



給水ホースを食器洗い
乾燥機専用として給水
栓に接続する場合に使
用します。
(部品番号 617 146 3446)

メーカー希望小売価格 1,000円

高さ調節脚



設置プレートと組合
せて、出窓に設置でき
ます。

KA-DW-SC30 (高さ: 190~300mm)
KA-DW-SC19 (高さ: 120~190mm)

メーカー希望小売価格 4,600円

延長用排水ホース

(ホースジョイント付き)



排水ホースを延長
する場合に使用します。

(長さ1m: 部品番号 617 120 4810)

メーカー希望小売価格 700円

※別売品は、製品改良のため予告なく
変更することがあります。

アフターサービスについて

保証書について

- この食器洗い乾燥機には保証書がついています。保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をよくお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 食器洗い乾燥機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 保証期間は、お買い上げの日から1年です。くわしくは保証書をご覧ください。
- 保証期間中の修理など、アフターサービスについておわかりにならない場合は、お買い上げの販売店、またはもよりのお客さま相談窓口にお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料で修理させていただきます。

外国での保証は

- この商品を使用できるのは、日本国内のみで、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
- This appliance is designed for domestic use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

転居されるとき

- 電源周波数(Hz)の異なる地区へ転居されても50・60Hz共用ですので部品の取り換えは不要です。
- 本体を移動する前に、本体底面の水抜きキャップを外し、残水処理を行なってください。
(その後水抜きキャップは、もとの位置に正しく取り付けてください。)

総合相談窓口

相談受付時間 月曜日～土曜日(祭日及び当社の休日を除く) 9:00～12:00, 13:00～17:00

家電製品についての全般的なご相談は、もよりの下記電話番号にお問い合わせください。

- | | |
|--------------------------------|---------------------------------|
| ◆北海道地区 TEL 札幌 (011) 280-1522 | ◆東北地区 TEL 仙台 (022) 714-6137 |
| ◆関東地区 TEL 東京 (03) 3815-1111 | ◆中部・北陸地区 TEL 名古屋 (052) 533-5245 |
| ◆近畿・四国地区 TEL 大阪 (06) 6994-9570 | ◆中国地区 TEL 広島 (082) 544-6036 |
| ◆九州・沖縄地区 TEL 福岡 (092) 263-7629 | |

郵便・FAXでのご相談される場合は

東京お客さまセンター FAX 東京 (03) 5803-3699 〒113-8434 東京都文京区本郷3-10-15
大阪お客さまセンター FAX 大阪 (06) 6994-9510 〒570-8677 大阪府守口市京阪本通2-5-5

修理や部品に関するご相談は、お買い上げの販売店、または別紙の修理相談窓口にお問い合わせください。